

# 都市農村交流活動の展開を目指して

## 親水水路と周辺の清掃活動を実施

### —那須塩原市 関谷上の内地区の活動報告—

◆ 9月2日の日曜日に、関谷地区の活動が実施されました。当日は、この時期にしては珍しく心地よい気候で、応援団員20名と地元関谷上の内むらづくり推進協議会の方々の全体で60名が結集、農村公園の親水水路の除草及び周辺土手の草刈り作業を行いました。

#### 悪戦苦闘の作業と作業後の充実感

親水水路が数百メートルにも及ぶことから、作業は3班に分かれて行いました。水路内に3年程前に植え付けたクレソンがはびこり、また、下流はノビエをはじめとした雑草が繁茂し、せっかくの清流の流れを妨げていたことから、細かい作業や、根気のある作業となりました。特に、水路内のクレソンが繁茂しすぎた箇所の水の流れを造る作業や雑草の除去は手作業とならざるを得なく、また、下流は、雑草が水路内一面に繁茂していたため、これの除去に大苦戦となりました。また、水路脇の農道は、遊歩道的な役割も持っているため、環境上、刈り取った草を竹箒や熊手で集め、軽トラックで移送するなど、他の地区では行わなくても済む作業もあり、なかなか大変な作業となってしまいました。

#### 細かい作業が多かった1班



(水路内及び土手の草刈り作業)



(作業後の状況)

## 雑草が繁茂し、最も難関な作業だった3班



(作業前の状況)



(難関だった雑草の除去作業)



(きれいになった作業後の水路)

## 作業後は、笑顔で全員集合



それでも、約2時間半の作業で、これまで、地元の方達だけでは困難であった水路内の雑草除去までできて、作業後のきれいになった水路を眺めて、人の数の力の強さを参加者一同改めて認識した瞬間でした。

### ◆ 地元自慢の手打ちうどんで楽しい交流会

作業終了後は、将来の都市農村交流活動を見据え県内では初めての試みとして会費制による交流会が行われました。

地元の加工組合の方達自慢の手打ちうどんをはじめ、煮物やお新香が食べきれないほど出され、参加者の中には、腹一杯で動くのもおっくうという人まででてしまいました。



### ◆ これからの活動に大きな期待が！！

当地区では、来年から、「農地・水・環境保全向上対策」に取り組むこととしています。また、素晴らしい自然や、そばのオーナー制、観光ジャガイモ掘りといった実績もあり、協議会員の中には、りんご園を経営している人もいます。これらの活動や夢大地応援団活動を連携させた都市農村交流事業が展開できれば、素晴らしい地区になると思われます。今後、地域の方達の十分な話し合いがなされることを期待したいと思います。